

- ▶ 本町土地総面積の約80%を超えるスギ人工林は、木材価格の低迷と高齢化、人口減少等により伐期齢を過ぎても手がつけられていない森林が多く存在するが、町内には素材生産業者が徳島中央森林組合しか存在しない現状であった。本町最大の資源である山林を災害から守り、再生し後世に引き継ぐとともに、林業担い手の確保・育成に取り組むことを目的に、平成31年3月に町が出資し「一般社団法人かみかつ森林環境公社」を設立した。今後、徳島中央森林組合と補完・協力しながら森林整備を進めていく方針。
- ▶ 令和元年度においては、以下の取組により今後の事業プランの土台づくりに取り組むことができた。
 - 町内全ての森林所有者を対象とした意向調査を実施し、580名の回答を得た。（回答率44.27%）
 - 意向調査結果を活用し先行して、早急に森林施業が必要と思われる森林について材積量や林齢等を調査する森林調査を実施。

事業内容

1 森林所有者への意向調査の実施

- 町内私有林面積8,814haのうち7,335haの意向調査を実施。（一部、共有林等を除外）所有者1,310名のうち580名の回答があった。（一社）かみかつ森林環境公社に森林所有者データの整理・集計等の業務を委託。

【事業費】 4,409千円（うち譲与税4,400千円）

【実績】 意向調査面積7,335ha・回答があった面積3,948ha（自ら経営する1,618ha・41.0%、町に経営を委ねたい2,045ha・51.8%、売却したい183ha・4.6%、その他102ha・2.6%）の回答を得た。

2 上勝町森林環境基金へ積立て

- 今後増大すると予想される森林経営管理法に基づく市町村自らによる森林整備（市町村森林経営管理事業）や必要とされる林業機械導入に備えた積立てを実施。

【事業費】 8,795千円（うち譲与税8,795千円）



（事業1：意向調査の成果）



（事業3：森林現地調査の様子）

3 一社）かみかつ森林環境公社の取り組み

- 意向調査と平行して、意向の確認を行いまとまりのあった森林について現地調査をモデル的に一社）かみかつ森林環境公社が実施。令和2年度以降、早急に間伐等が必要と思われる約120haを調査。担い手育成・確保の観点から放置林の施業を実施する予定で、令和2年4月より2名の新規林業従事者を雇用する予定。

基礎データ

①令和元年度譲与額	13,195千円
②私有林人工林面積（※1）	7,082ha
③林野率（※2）	88.47%
④人口（※3）	1,545人
⑤林業就業者数（※4）	22人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より

	事業区分	事業総額（千円）		
		うち当該年度の森林環境譲与税（千円）	うち基金取崩額（千円）	うち他の財源（千円）
1	森林所有者の意向調査	4,409	0	9
2	基金積立（森林整備等）	13,195	13,195	0